

今月のスマイル



今 かすみがうら市の農林水産物 年は豊作！梅の出荷

～かすみがうら市産の梅『常陸乃梅』を みなさんの食卓へ～

梅の出荷がピークを迎えているということで、6月28日に出荷作業を訪ねました。取材時には熟した梅(熟梅)の出荷作業を行っており選果場には、甘い香りが広がっていたのが印象的でした。

今回お話を伺った JA 土浦千代田梅部会は、14 人の生産者の方で構成されています。栽培している梅は、主に「白加賀」、「石川一号」、「加賀地蔵」^{つゆあかね}「露茜」などを栽培し、青梅として「白加賀」を、熟梅として「石川一号」、「加賀地蔵」、「露茜」を市場へ出荷しています。出荷した青梅は梅シロップやかりかり梅などに、今回出荷した熟梅は梅干しなど(「露茜」は梅シロップや梅ジュースなど)に加工されます。

例年の平均出荷量は、約 15 トンですが今年はその約 2 倍の約 28 トンの出荷が見込まれ、「今年は例年より花の開花が早かったが、天候にも恵まれ良い梅が実った豊作の年」と岡野逸雄部会長が話されていました。

すももと交配させた「露茜」は、実そのものが赤く梅シロップなどに用いると、「露茜」の鮮やかな赤色になる特徴があります。これから力を入れて栽培していきたい品種とのこと。



また、JA 土浦千代田梅部会と漬物製造販売業(梅干しなどを製造)の「吉田屋」が連携し協議会を立ち上げ、『常陸乃梅』という梅のブランド確立を目指し、知名度の向上を図っています。かすみがうら市で生産された梅が全国や世界の食卓に並ぶのが期待されます。

↓生産者自らの手で選果。「この出荷作業は、大事な情報交換の場となっています」と生産者の声



大 かすみマルシェ・父の日ワークショップ 好きなパパに日頃の感謝をこめて

6月17日、(株)かすみがうら未来づくりカンパニーが、「お父さん似顔絵弁当を作ろう」のワークショップを行いました。参加者は市産ブランド米「ふくまる厳選米」で握ったおにぎりに、のりやかつおぶしなどを使ってパパの似顔絵を描きました。そのほか、かすみキッチンシェフ特製の惣菜を盛り付け完成。『「お父さんいつもありがとう」と言ってお弁当を渡したい』との声もあり、素敵なプレゼントが出来上がりました。



↑パパの顔を思い浮かべながら、一生懸命にパパの顔を描きました

快 霞ヶ浦広域バス 適なバスの利用を目指して

7月2日より、玉造駅から霞ヶ浦地区を経由し、土浦駅までを結び霞ヶ浦広域バスは、新型車両(ノンステップバス)を導入し運行しています。座席には、モバイル電源用 USB コンセントを設置しています。そのほか、車内では無線 LAN (Wi-Fi) サービスを無料でご利用できます。また、お手持ちの PASMO、Suica などでもお支払いでき、スムーズに乗降ができます。



↑ 6月20日に行われた新型車両導入記念式典時でお披露目

い思い切って息をふー！シャボン玉が作れたね。オニツカサリーさんの歌に合わせてお母さんと手拍子♪はやまゆり館特製の山車を引き、縁日会場へに上手にすくっておもちゃをゲット！



↓腹筋を意識しながら行う呼吸法を実践中



呼 千代田中地区公民館講座 吸法で体も心も元気に！

6月22日、千代田公民館で「3分間の呼吸で健幸(けんこう)に!!」の第4回が行われました(全5回)。腹式呼吸をもとに横隔膜や腹筋などの筋肉を意識しながら行う呼吸法を学ぶことができます。インナーマッスルが鍛えられるだけでなく、心のリフレッシュ効果も。老若男女問わず、誰でも気軽に行うことができる呼吸法を取り入れて、心身の健康を目指しましょう。

自 東京都板橋区との都市交流事業 然の恵みを堪能♪

6月23日、防災協定を結んでいる東京都板橋区との都市交流事業として「かすみがうら市日帰りバスツアー」が行われました。じゃがいも堀り体験や今春リニューアルした水族館の見学、ブルーベリー狩りなど本市の魅力を堪能していただきました。参加者からは「楽しかった。友達にもバスツアーを紹介したい」との感想がありました。



↑旬のブルーベリー狩りを体験。熟したブルーベリーを丁寧に摘み取ります



年 セタまつり in やまゆり館 に1度の楽しい時間

7月5日、やまゆり館で恒例の「セタまつり」が行われ82組177人が参加しました。やまゆり館の入り口やホールには、色鮮やかな七夕飾りが飾られ、参加者を出迎えました。今年はやまゆり館特製の山車を引き、参加者は縁日会場へ！シャボン玉やおもちゃすくいなどに挑戦していました。オニツカサリーさんのコンサートでは、手遊び歌などもあり、子どもたちも思い思いに歌を楽しんでいました。そのほか縁日会場では、かき氷や特製うちわのプレゼントなど楽しい催しが行われました。